

下部消化管内視鏡検査説明書

1. 目的

肛門から太さ9～13mmの内視鏡を挿入し、肛門、大腸(直腸、結腸、盲腸)、小腸の出口(終末回腸)の臓器内壁をカメラで直接観察し、病気(潰瘍・ポリープ・悪性腫瘍など)の検査を行います。

検査時に異常が認められる場合は、以下の処置を行うことがあります。

- 色素散布(病変部位を明瞭にするため)
- 生検(一部組織を採取し病理検査を行うため)
- 止血(熱凝固法、クリップ法、高張食塩水エピネフリンの局注など)
- ポリペクトミー(コールドポリペクトミー)

2. 方法

- ① 静脈麻酔で鎮静剤を使用します。
- ② 直腸診を行って、肛門から大腸カメラを挿入します。
- ③ 観察のみの場合、15～30分の検査時間です。ポリープ切除を行う場合、さらに時間がかかります。

3. お申し出いただきたい事項

- 過去に静脈麻酔で、アレルギーや気分不良の出た方。
- 過去に薬や食べ物で、じんましんなどの症状が出たことがある方。
- 前立腺肥大、緑内障、心臓病(狭心症、心筋梗塞、不整脈など)、その他治療中の病気のある方。
- ペースメーカーや体内金属の植え込みを行われている方。
- 抗血栓薬(血をサラサラにする薬)を服用している方(場合により休薬が必要な可能性があります)。

4. ご留意いただきたい事項

鎮静剤を使用した検査の後には薬剤による影響のため、眠気、視力低下、健忘などが現れることがあります。自転車、自動車、オートバイなどの運転は控えて下さい。検査当日はお仕事など重要事項の判断を控えて下さい。

5. 予想される合併症

- ① 腸管洗浄液による偶発症 頻度:0.0005%
- ② 鎮静剤や消化管の動きを止める薬剤(前処置薬)の注射による副作用 頻度:0.0037%
- ③ 検査(治療を含む)時の偶発症(出血や消化管穿孔など) 頻度:0.011%
- ④ ポリペクトミーに伴う偶発症 頻度:0.394% など

6. 個人情報の取り扱いについて

診察情報・検査所見などを臨床検査、症例報告のために利用させていただくことがあります。その場合は個人情報を匿名化するなどして、個人が特定されないように十分に配慮いたします。

同意書

私は、下部消化管内視鏡検査を受けるにあたり、説明文書に記載された事項について説明を受け、その内容を理解しました。以上のもとで、この検査を受けることに同意します。

検査は鎮静剤を使用して行うことに同意します。

なお、説明書とこの同意書の写しを受け取りました。

都クリニック

【説明】

説明日： 年 月 日

説明者：医師

【同意】

同意日： 年 月 日

患者氏名： ※直筆署名

代諾者注1 (患者様との関係：)

注1 患者様本人に判断能力がない場合のみ、代諾者が自筆署名をして下さい。

連絡先

氏名： (続柄：) 電話番号：